

シラバス情報

| 授業方法 | 講義 ・ 実験 ・ 実習 | | |
|------------|--|---|---------------|
| 系 列 | 実 習 | | |
| 科 目 名 | 電装整備 | | |
| 必修・選択 | 必修科目 ・ 選択科目 | | |
| 対象学科 | 二級自動車整備科二輪自動車整備士コース | | |
| 年次学期・曜日・時限 | 1年前期 | ・ 木～金曜日 | ・ 1時限～8時限 |
| 時 限 数 | 60. 8時限（期末試験を除く） | | |
| 担当教員名 | 廣石 泰大・川向 芳子 | | |
| 実務経験 | 有 ・ 無 | | |
| | 国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、二輪自動車の電装関連の整備等を行う上で必要となる基礎知識と技術についての実習を実施する。 | | |
| 授業の目的 | 二輪自動車の電装関連の整備等を行う上で必要となる基礎知識と技術の習得。 | | |
| テキスト | ① 実習テキスト | | |
| 授 業 計 画 | | | |
| 授業回数 | テーマ | 内容・方法等 | 使用テキスト 範囲 |
| 第1回 | はんだ作業 | はんだ付け作業の基本内容習得 はんだの特徴、接続方法、材質及び母材について学習し ミノムシクリップを使った実作業を行う | ①4～5 |
| 第2回 | サーキット・テスト1 | 電気の流れ、考え方の習得 サーキット・テストの基本内容解説 電圧測定の実習 | ①6～19 |
| 第3回 | サーキット・テスト2 | 電流測定の実習 抵抗測定の実習 | |
| 第4回 | サーキット・テスト3 | 電圧、電流、抵抗測定のまとめ 小テストを行う | |
| 第5回 | バッテリー | 二輪車用バッテリーの構造を理解する 構成部品の名称確認 充電・放電作用の学習 | ①58～87 178 |
| 第6回 | ボード回路 | 回路図を参考にボード回路の作成を行う 電気の流れを読めるようになること | ①179 |
| 第7回 | ボード回路 | 作成したボード回路にて電圧、電流、抵抗を測定する | |
| 第8回 | | 小テストを行い理解度を確認する | |
| | ステップ試験（中間試験） | 第1回～第8回までの授業内容に関する実技試験 | |
| | 期末試験 | 第1回～第8回までの授業内容に関する実技試験 | |

| | |
|---------------|---|
| 到達目標 | サーキット・テストの使用方法及び電気の基礎の理解を目標とする。 |
| 成績評価方法 | 平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、ステップ試験（中間試験）並びに期末試験を合算して行う。 |
| 定期試験受験資格 | 開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。 |
| 成績評価基準 | <p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>中間試験の点数 30% 期末試験の点数 40% 平常点 30%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって評価する。</p> <p>60～69点＝可、70～79点＝良、80～89点＝優、90点以上＝秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、成績は60点＝可とする。</p> |
| 成績評価できない場合の基準 | 全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、又は、成績評価が60点未満の場合。 |